

第7号(季刊)

平成18年11月17日発行

発行/佐野れいじを育てる会
自民党東京都中野区第25支部
編集・発行人/後藤 攻
〒164-0012 中野区本町3-3-4
TEL.5354-8172 FAX.5302-0892
E-mail:rsano@df7.so-net.ne.jp
年間購読料/400円

なかの夢とぴあ



中野区厚生委員会で幼保一体総合施設視察のため訪れた
滋賀県守山市のカナリア園で、園児と一緒に

子供達が安心して暮らせる街、中野をめざして。
佐野れいじ区議、決意も新たに！



中野区議会議員
佐野れいじ

5年9ヶ月の間、延べ8日だけ出勤し、給与2700万円を懐に入れた奈良市の職員の話は新聞やテレビで連日報道されましたから皆さまもご存じだと思います。言語道断なことは言うまでもありませんが、この給与が税金から払われていることに私は怒りを抑えられません。これは税金の「無駄遣い」というより、税金の「横領」です。

私はそれまで勤めていた民間会社を辞めて、平成15年の4月、区議会議員の仲間入りをしました。そこで最初に驚いたことは、区職員の人事費率が余りにも高いことでした。一般的な企業では人事費率が30%を超えると企業としての存続が危ういとさえ言われていますが、中野区の場合33・3%。当時、東京23区でも1、2を争う高比率でした。このことは、民間で育った私にとっては大変なショックでした。

「佐野の議会での質問はいつも区財政のことだ」というお叱りも重々承知しておりますが、限られた財源で、例えば防災に取り組みにしても、支出の約6割をしめる人件費等義務的経費(必ず支払わなければならない経費)を抑えないことにはその他の経費が生じません。こうした中で、約6000万円に上る特殊勤務手当の99%を廃止させたのも私が議会で取り上げたのが契機になったと自負しております。人件費率も18年度は28・5%まで削減しました。しかし時間給にして30000〜40000円もする残業代など、まだまだ是正することが沢山残っています。

一般的に選挙ではよく、最初は期待感、2期目からは実績といわれますが、地下鉄丸の内線地元駅のバリアフリー化や、なかの区民テレビが区内全域で視聴可能になるなど、この間私も精一杯頑張ってきました。また大人はもとより、次世代を担う子供達がいじめにも遭わず、このまちに住んでいて良かったと実感できるように、元気で活力のある中野を目指して今後も全力で取り組んでまいります。なにとぞ倍旧のご支援、ご鞭撻を切に願います。次第です。